

県内支部組織 発足へ

徳島県内の大学や企業関係者らが、国際奉仕団体キワニスクラブの支部組織となる「徳島キワニスクラブ」(仮称)を来年2月に発足させるため、準備を進めている。子どもの貧困や虐待が問題となる中、子どもたちに無料、格安で食事を提供する「子ども食堂」や児童福祉施設などへの支援を充実させようと立ち上がった。県内で同クラブが設立されるのは初めて。

キワニスクラブは米 キワニスクラブ元会長 国に本部があり、ライオンの米澤房朝さん(72)がオンスクラブ、ロータリー 熊本市、会社社長、リークラブと共に世界が、同市出身で長年親三大奉仕団体の一つと交のある徳島大病院されている。子どもへ 長の永廣信治さん(64)の奉仕活動を中心に活らに3月に呼び掛けた動し、世界85カ国に約 のがきっかけ。

7300のクラブ(会 趣旨に賛同した大学 員約20万人)、国内に や企業の関係者、弁護 33クラブ(約1900 士ら約20人が集まり、 人)がある。 これまでに設立準備会

徳島での設立に向け を2回開いて規約や発 動きは、国際キワニ 足に向けたスケジュール ス日本地区成長戦略委 員長を務めている熊本 主な活動として、子

来年2月 有志ら準備進める

市で設立総会を開き、正式発足となる国際認証式の来年2月開催を目指す。

子ども食堂への寄付や児童福祉施設への慰問、担う子どもたちをサポート病気の子どもが手術の怖さや入院生活の不安を取り除くために使う人形「キワニスドール」の普及などを想定している。年内に徳島

永廣さんは「未来を担う子どもたちをサポ ートする非常に有意義な活動。県内の企業や個人にクラブへの参加を呼び掛け、支援の輪を広げたい」と話している。(河野大樹)



設立準備会で規約などを話し合う賛同者—徳島市の徳島グランヴィリオホテル